



獣医  
学科

## 獣医放射線学研究室

KEY  
WORD

画像診断／放射線治療／X線／超音波／CT／  
MRI／核医学／環境放射能

研究  
テーマ

新たな画像診断法の探索／放射線治療／環境放射能と被ばく評  
価

ミッション

画像診断精度の向上／最適な放射線治療法の実証と提案／放  
射能汚染と被ばく評価

### ○動物病院の放射線科として

放射線科には物言えぬ動物の異常を知るための手段に画像診断があります。北里大学附属動物病院の画像診断では、X線や超音波、CT/MRI検査のほかに、全国の獣医大学で唯一の放射性医薬品を使用したシンチグラフィやPET検査としての核医学検査を実施しています。画像データは診療だけではなく、今後はDICOMサーバを利用して効率的な臨床教育に活かされる予定です。大学では「獣医基礎放射線学」、「画像診断学」、「獣医臨床放射線学」を通じて、放射線の基本的な特徴と臨床応用を理解します。特に画像診断学では豊富な臨床例を追体験すること、および臨床実習での実践を通じ、先端分野の画像診断機器を使用することで、それらの知識のみならず、技術を身につけていただきます。

### ○最先端の診断・治療技術の開発研究と放射線の影響研究

放射線学研究室では、最先端の診断技術を利用・開発し、より早期のがん診断ができることと、根治できるがん治療を明らかにすること、さらに新たな放射線治療法の開発など、多くの大学や研究機関との共同研究を入を行っています。また、病院での放射線治療装置を用いた主に犬猫の治療とともに、放射線が引き起こす未知の生命現象の解明にも積極的に取り組んでいます。加えて、福島第一原子力発電所に発生した原子炉災害に起因する広範囲な環境汚染問題に対し、特に畜産業と食の安全という観点から、いち早く牛での内部被ばくと放射性セシウムの体内挙動について世界に先駆けて明らかにしました。また最適な汚染地域の除染方法や広域な土地の有効利用を提言すると共に、低線量放射線が生物に与える影響について、その推移を科学的視点から長期的に観察しています。